

2024年11月6日
株式会社SVPジャパン

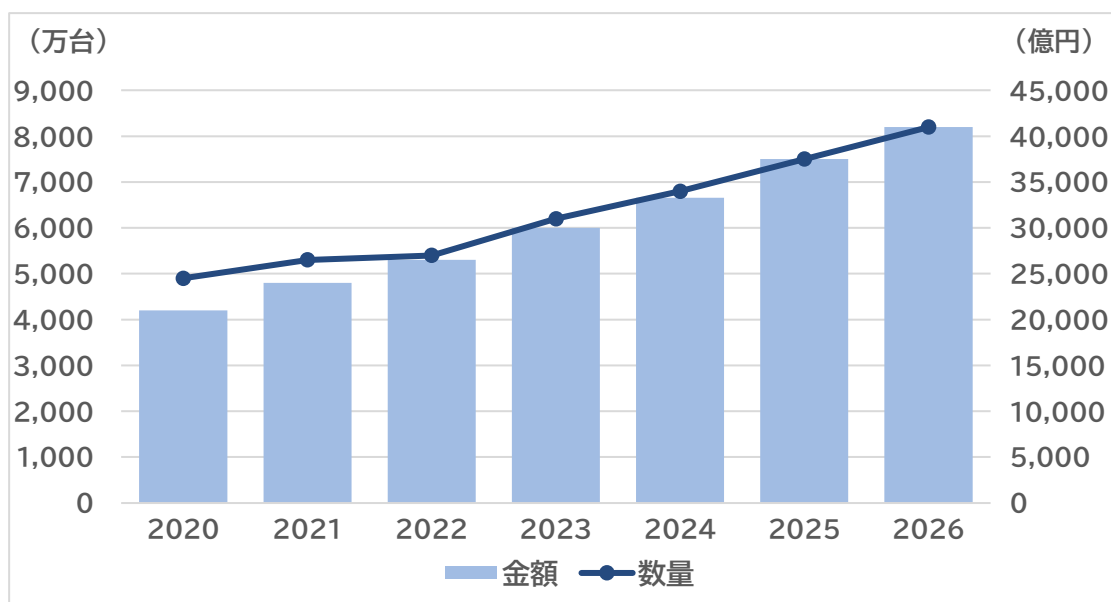
SVP注目市場分析 「ADAS」を公開

～未来の交通インフラを支える先端技術の展望～



会員制マーケットリサーチサービスを提供している、株式会社SVPジャパン（本社：東京都中央区、代表取締役社長：橋本 雅、以下「SVPジャパン」）は、本日、SVP注目市場分析レポート「ADAS-世界市場の現状と将来展望-」を、会員企業向けに公開いたしました。

■ ADASの世界市場



従来、ADAS（先進運転支援システム）の搭載は高級車に限られていたが、各国の安全性能評価や法規制により、普及価格帯の自動車にも搭載が進み、市場に大きな影響をもたらしている。2019年には日本やEUなどが新車への衝突被害軽減ブレーキの義務化に合意し、日本では2021年から新車への適用が開始された。米国や中国は前述の合意に加わっていないが、搭載が進んでおり、特にEV車での自動運転機能が成長を牽引している。2023年には世界市場規模が約3兆円、搭載車両数が約6,200万台に達したと推定される。数量ベースでの国・地域別の構成をみると、日本が約7%、欧州が20%、北米と中国が25%程度を占める。今後は新車の販売台数が年間5%増のペースで堅調に推移し、今後3年間でADASの搭載率が75%に達するとみている。

■ ADASの世界概況

ADASは、ドライバーの負担を軽減し、事故のリスクを減少させるため、各メーカーが開発を強化しており、またADASの搭載を義務づける国が増えている。具体的には、衝突被害軽減ブレーキ（自動ブレーキ）や、ふらつき警報、駐車支援システムなど様々な機能がある。

また、ADASの開発は、システムを自動車に搭載する完成車メーカーを中心に、自動車部品メーカー、電子機器・通信機器メーカーなどが、センサーなどの部品供給、共同開発を通じて協力する業界構造となっている。

マーケットシェアは新車の販売台数に準じおり、現在トヨタ・グループをトップに、フォルクスワーゲン・グループ、現代自動車グループ、ルノー・日産・三菱アライアンスの順に占めている。



■ 本レポートの構成

- I. 市場の定義
- II. 市場動向
- III. 市場規模・予測
- IV. マーケットシェア
- V. 参入企業の動向
- VI. 業界構造



←レポート全編を見る クリック

※本サービスのご利用は、SVP会員様限定でございます。

■ 購読について/資料ダウンロード・お問い合わせ

本サービスのご利用は、SVP会員様限定でございます。

購読をご希望の場合、当社SVP会員になっていただけますと、定期的に配信する市場調査レポートを全てご購入いただけます。なお、SVP会員は、ビジネス調査に関する、クイックリサーチとプロジェクトリサーチもご利用いただけます。

資料請求

お問い合わせ



■ 次回のテーマ

12月のテーマは「ドローン①機体」と「ドローン②活用支援サービス」を予定しています。

～SVP注目市場分析レポート更新スケジュール…毎月第1・第3水曜日の発刊を予定～

[会社概要]

社名 : 株式会社SVPジャパン
代表取締役 : 橋本 雅
所在地 : 東京都中央区日本橋蛸殻町1-38-9 宮前ビル2F
設立年月日 : 1974年7月1日
事業内容 : 会員制のビジネス情報提供サービス
URL : <https://www.svpjapan.com/>

[本プレスリリースに関するお問い合わせ先]

株式会社SVPジャパン DX推進部 デジタルマーケティング課
info@svpjapan.com